

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市防犯灯設置事業補助金交付要綱
事業開始年度	昭和46年～		
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目 基本施策	04	安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目 施策	03	地域との協働
事務事業名	03	防犯活動支援事業	
問	担当課(室)	市民課	
合	職・氏名	生活安全係長 新庄 敏彦	
先	電話	0869-64-1876	
このシート作成に要した時間			4.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	地域の防犯関係団体及び防犯活動の実施者。	
目的(何のために)	市、地域防犯関係団体が、各々の役割を認識し活動することにより、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた防犯体制の確立。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域の自主防犯活動を活性化させる。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	地区防犯活動団体支援事業	小学校区単位で設立した自主防犯活動団体に対し、情報提供や意見交換会の開催等の支援をしている。	
	防犯灯設置事業	防犯灯を設置する団体に対し、設置に要する経費の2分の1以内の補助を行う。(補助金限度額は、1灯あたり水銀灯は6万円、蛍光灯及びLED灯は3万円)中電の球替えサービスの廃止とともに設置要望が多く、高寿命で安価になったLED灯の推奨を行っている。	
	備前防犯連合会事業	備前警察署の生活安全課が事務局となり、地域の防犯啓発や防犯団体の支援等を行っている活動の会費を支払っている。年5回、街頭啓発活動に参加している。	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績			
	事業費	直接事業費	千円	2,135	2,411	3,685			
	必要人員費	人員費	千円	0.18人	1,808	0.12人	1,165	0.24人	2,340
	事業費	費計	千円	3,943	3,576	6,025			
	財源	国	支出金	99					
		受益者負担	金						
繰入金		金							
市	債								
その他()									
一般財源		3,844	3,576	6,025					
受益者負担比率	%	-	-	-					

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	防犯灯設置補助	説明	防犯その他の目的のため防犯灯を設置する団体に対して補助金を交付する。		
	結果指標量	件	34	53	107
	対前年比	%	-	155.9%	201.9%
活動コスト	円	862,000	1,507,800	4,218,000	
単位当たりコスト		25,353	28,449	39,421	

事業の成果		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	年度				
	防犯活動団体支援数	目標値(A)	12	12	12
		実績値(B)	11	11	11
	達成率(B/A)	91.67%	91.67%	91.67%	未定
成果指標設定の考え方・式や説明					
概ね小学校区を単位とした地域自主防犯活動団体の設立数					

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない事業の内容が一部の受益者に偏っている対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である事業開始当初の目的から変化してきている事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	市民ニーズ	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地があるコスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい受益者負担率は適正である受益者負担率を見直す余地があるサービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性の評価	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である成果指標の到達目標値は達成できそうである成果指標達成率は前年度と比較して向上している成果指標達成率は80%未満となっている現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい事業について積極的にHPや広報等で情報提供している事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	小学校の下校時に重点的に青色パトロールを実施・啓発活動、ホームページやメールマガジンによる情報配信など実施する。また、防犯灯を設置する団体に対しては、高寿命で安価になったLED灯の推奨をしていく。

総合評価		Action
犯罪発生を未然に防ぐために、市の対策として防犯施設の整備は重要であり、特に防犯灯については、中国電力の球替えサービスの廃止に伴い、町内会等から非常に関心が強く、高寿命で安価になったLED灯の情報発信により推奨していく。	総合評価	A

平成25年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	引き続き、地域の要望に応じた防犯活動を支援していく。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する